

ショルダーベルト部の荷重分散機能

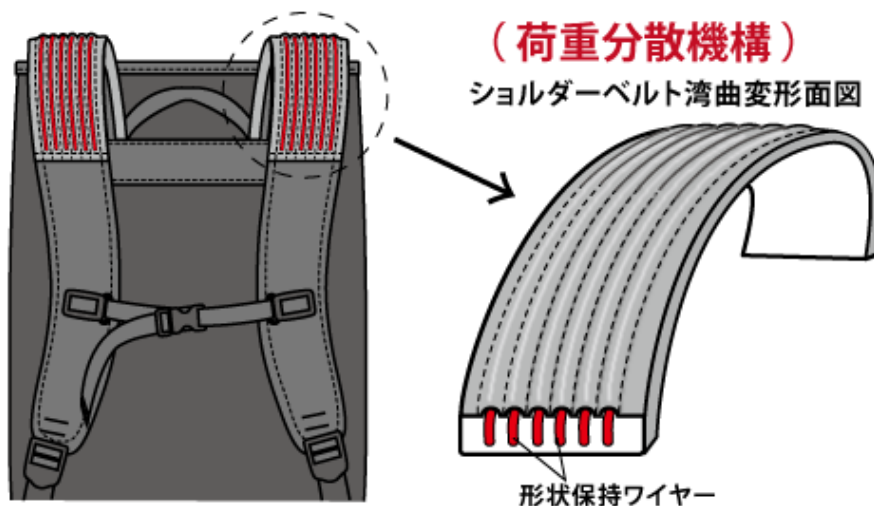
[シーズ提供元：有限会社ガルボプランニング]

活用企業イメージ

- ・ リュックサック等を製造する企業 → ショルダー部に形状保持機能を加え荷重分散できる商品の開発・販売。
- ・ ランドセルを製造する企業 → ショルダー部に形状保持機能を加えた商品の開発・販売。

技術内容

- ・ ショルダーベルトの肩掛け部に形状保持ワイヤーを配置し、使用者の肩面に沿って湾曲した形態を保つことで重量物の荷重をベルト肩掛け部でほぼ受け止める荷重分散機構。



技術の特徴

- ・ 荷重が分散されるので軽く感じ荷物側へズレ落ちにくくなる。
- ・ 体型に関係なくベルト部の湾曲形状を保持することができる。
- ・ 後ろへ引く力が分散され姿勢が正され疲労が軽減される。
- ・ バッグを担ぐ時にショルダーベルトがひっくり返らなくなる。
- ・ 荷重が分散され飛んだり跳ねたりした時などの肩への衝撃が軽減される。
- ・ 横への荷重が肩の形状に整形保持され横揺れやぐらつきしにくくなる。
- ・ 横及び斜め方向への曲がりにも形状が変形保持することができる。
- ・ 軽量で通気性が確保出来る。
- ・ 簡易仕様なので多品種の商品が低コストにて製造ができる。

開発の経緯

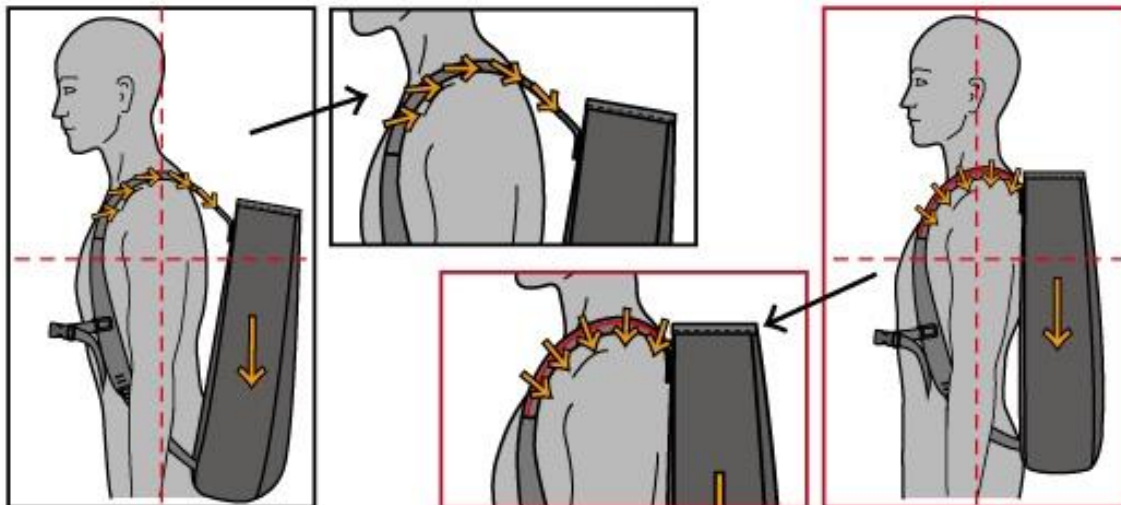
従来のショルダーベルト

人体への荷重は摩擦抵抗だけで維持

→ 荷重方向

形状保持ショルダーベルト

人体への荷重が分散されることで維持



活用例



活用への補足・提供条件等

- ・ライセンス出来ない分野：特になし。
- ・契約金：ロイヤルティーは別途相談
- ・機能を付加した商品を積極的に開発、販売する企業が望ましい。

特許情報

特許番号：特許第6714191号
 登録日：令和2年6月9日
 出願日：令和1年11月11日
 名称：ショルダーベルト用の荷重分散機構
 権利の残存年数：18年(令和21年11月迄)

※令和3年6月1日現在

その他関連情報